



▼Contents

- 1 生徒会役員任命式報告
- 2 生徒会役員選挙報告
- 3 「為すことを学ぶ」ジョン＝デューイ

1 生徒会役員任命式報告



任命書を受け取り気が引き締まる



旧生徒会執行部員斉藤楓さんより退任の挨拶

生徒会長：山崎 真徹（22HR）

副会長：伊世 快地（22HR）

佐山 夢奈（12HR）

執行部員：伊藤 真樹（21HR）

木部 朱里（21HR）

新田 心美（21HR）

伊藤 雪愛（22HR）

蛸子 桃羽（22HR）

平田 一颯（22HR）

蝦名 もみじ（11HR）

執行部員：柿崎 儀斗（11HR）

坂 袖衣（11HR）

傳法 蓮斗（11HR）

伊藤 友哉（12HR）

中嶋 美湖（12HR）

新田 航生（11HR）

横谷 炫人（11HR）

2 生徒会役員選挙報告



毎朝生徒玄関前で選挙活動



青森県選挙管理委員会を講師に招き選挙を学ぶ



大間町から投票所や投票箱を借りた本格的な選挙



一人の一票が社会を変える

10月30日(月)生徒会役員選挙が行われました。期間中、立候補者は「ポスター」やmanifestoを記した「選挙だより」を作成し、生徒玄関前での活動を行いました。当日は、青森県や大間町の選挙管理委員会から、選挙に関する啓発講演や本格的な投票所の設置にご協力いただきました。

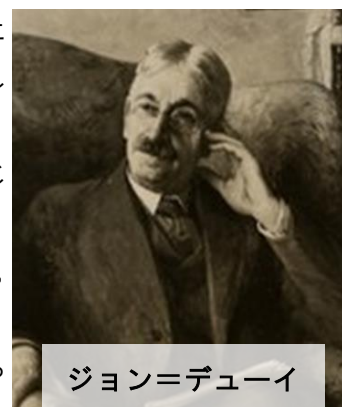
3 「為すことを学ぶ」ジョン＝デューイ

アメリカの教育学者ジョン＝デューイ¹は、民主主義社会の実現のためには、学校において生徒自らが工夫や改善を経験し、「為すことを学ぶ」ことが大切だと言いました。

生徒会役員選挙の目的は、将来正しい判断ができる有権者を育て、また選挙を通じて自らも生徒会の一員として学校をどう良くしていくかを考えることにあります。

高等学校は先生方が全てを指示せず、生徒自身が学校の活動を運営・改善できます。苦勞をするでしょう、喧嘩もするでしょう。教えてもらっていないこと、嫌なこと、不便なことはやらないということはいけません。誰かに任せるのではなく、自分たちで改善しましょう。その経験は高校生のうちしかできません。

先生たちは皆さんに、誰かの指示を受けなければ何もできない人物になって欲しくありません。苦勞をせず好きなことしかやらない人間にも育て欲しくありません。大間高校に入学したからには、主体的に学校の活動に参加し、各自がリーダーの素質を身につけましょう。民主主義は誰もが主人公であり、誰もが責任者です。その力を大間高校で身につけましょう。その先駆けに、新生徒会役員になることを期待しています。



ジョン＝デューイ

¹ ジョン＝デューイ (1859～1952)

アメリカの哲学者。教育思想家。プラグマティズムの大成者。知識を問題解決の道具として考え、精神活動の一切を、具体的な生活の中での問題解決の手段と捉え、その実践の場としての学校教育の在り方を重要視した。著書に『民主主義と教育』(1916)